

うつむかず

新野の
祐子

こもりぬ
隠沼をルーペでさがす呉夫の忌

*眞鍋呉夫……作家、俳人。二〇一二年六月五日、九十二歳にて他界。

ふくろうが梅雨の小径に立っていた

気に病めばわたしの中に梅雨茸

梅雨晴れ間オナガのかよう路ひかる

猫の真似ことごとく無理髪洗う

磐梯山山行五句

昼暗き森を点してくるまゆり

磐梯山ばんだの科の木や美し大暑なり

夏うぐいす関西弁が道尋ぬ

コル続く羽ばたき強き揚羽蝶

えぞにうやコロナ禍といえうつむかず